

インベントリの検討体制について

毎年のインベントリの算定方法や専門的な評価・検討が必要な課題については、環境省において「温室効果ガス排出量算定方法検討会」（以下、検討会）を開催し、幅広い分野の国内専門家により検討を行っている（表 参照）。

検討会の結果はインベントリに反映するほか、特に留意すべき事項については検討会において使用された資料をNIR の別添として公表しており、インベントリの完全性及び透明性の改善に貢献している。検討会は、1999 年から毎年開催している。

表 温室効果ガス排出量算定方法検討会の概要

運営主体	環境省
開催開始年	1999年（平成11年）～
主な 検討内容	各排出区分の温室効果ガス排出量・吸収量の算定方法等の評価・検討に関すること 排出量の不確実性評価に関すること QA/QC（品質保証／品質管理）計画の検討に関すること インベントリ（共通報告様式[CRF]、国家インベントリ報告書[NIR]）の作成に関すること
体制	温室効果ガス排出量算定方法検討会の下に、分野横断的な課題を検討するインベントリWG及び分野別の課題を検討する分科会を設置
委員	各分野の専門家（2005年度：65名程度）

温室効果ガス排出量算定方法検討会（13人）

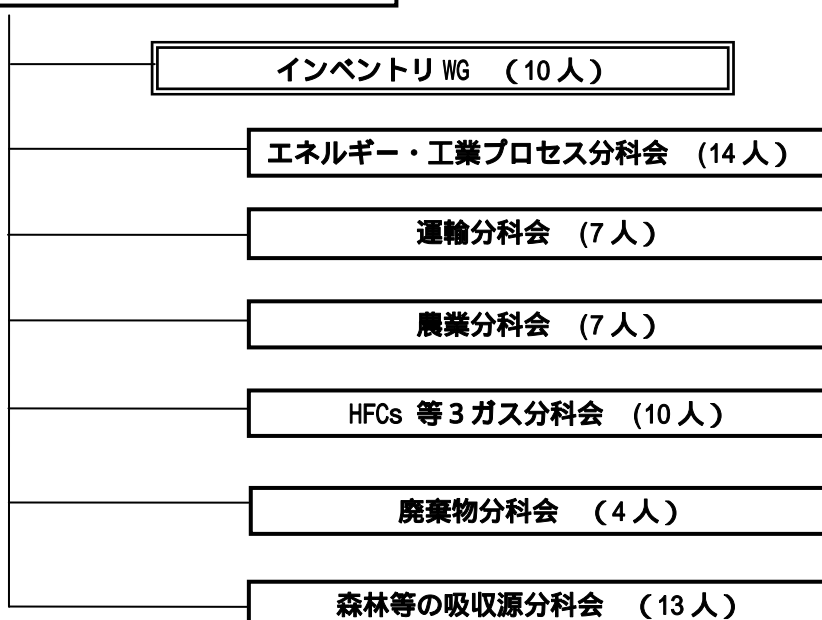


図 温室効果ガス排出量算定方法検討会の体制（2005年度）
（WG及び各分科会の人数については、変更される場合がある。）